

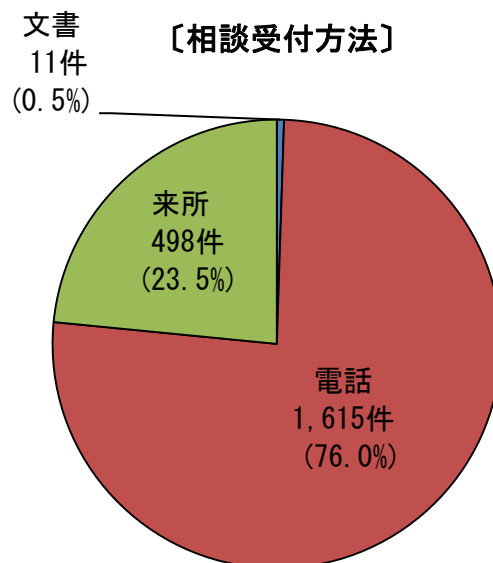
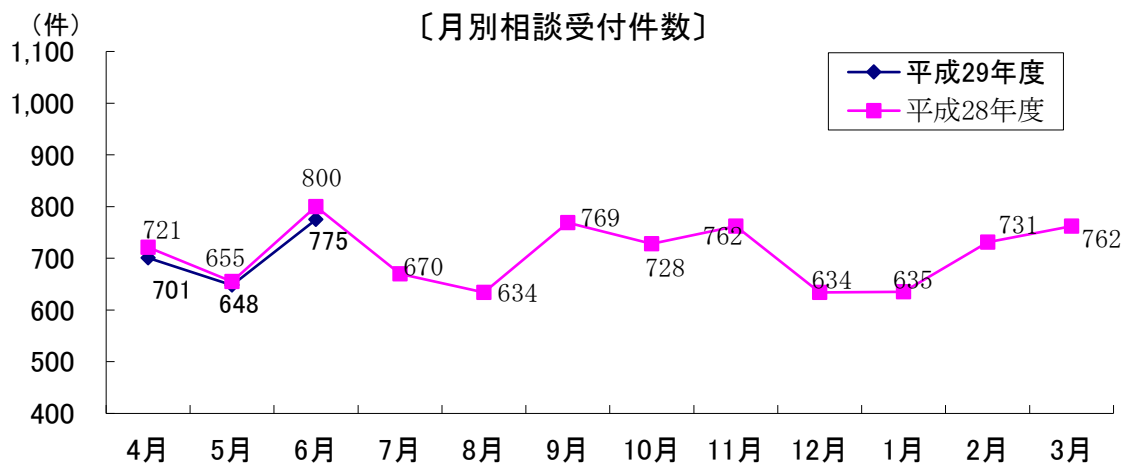
平成 29 年 4 - 6 月青森県内の消費生活相談状況

1 相談受付状況

(1) 概況

平成 29 年 4 - 6 月に県内の消費生活相談窓口で受け付けた消費生活に関する相談件数は、2,124 件（苦情 1,736 件、問合せ 388 件）であり、前年同期と比較して、52 件（▲2.4%）減少しています。（単位：件）

項目 \ 年度	平成 29 年度 4 - 6 月	平成 28 年度 4 - 6 月	増 減
苦 情	1,736	1,766	▲ 30(▲ 1.7%)
問 合 せ	388	410	▲ 22(▲ 5.4%)
計	2,124	2,176	▲ 52(▲ 2.4%)

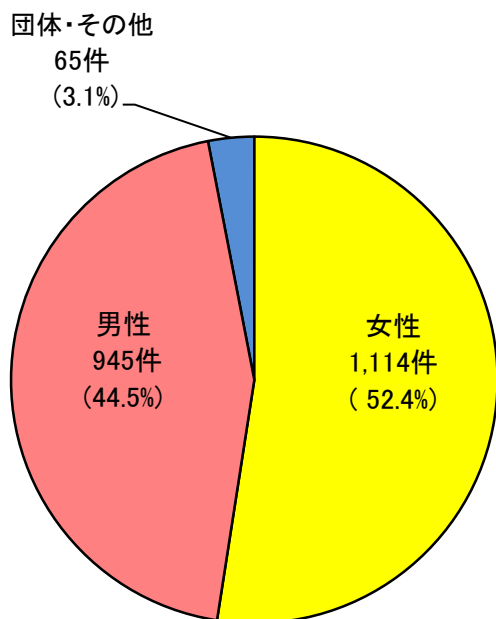


(2) 契約当事者の状況

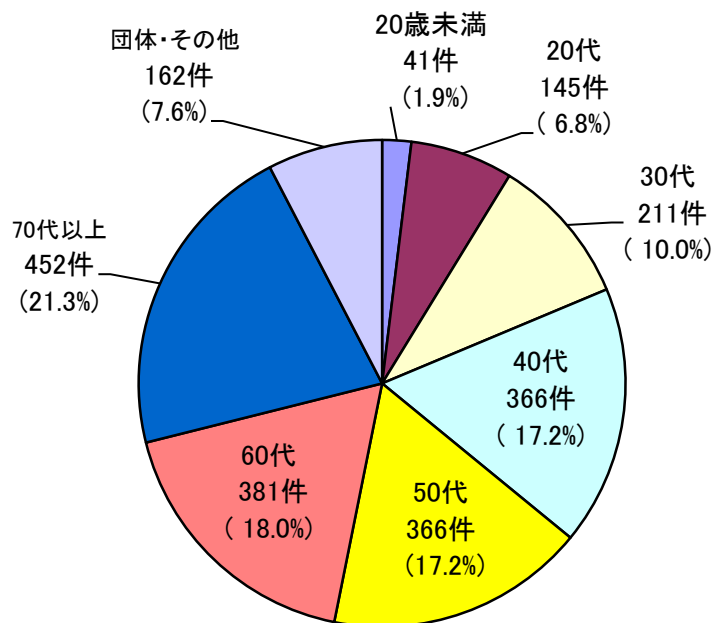
契約当事者を性別で見ると、女性が1,114件で、全体の52.4%を占めています。年代別では、70代以上が452件(21.3%)と最も多く、次いで60代が381件(18.0%)となっています。

また、契約当事者を職業別で見ると、給与生活者が816件(38.4%)と最も多く、次いで無職が683件(32.2%)となっています。

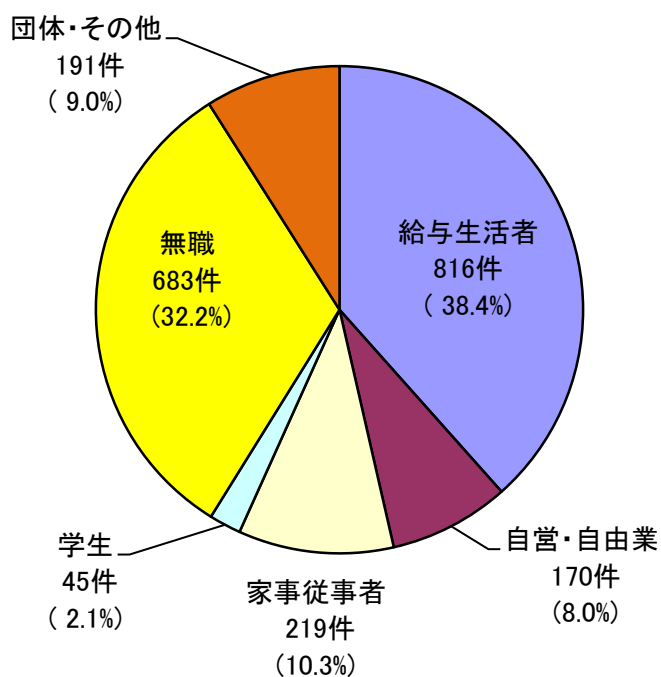
〔契約当事者の性別〕



〔契約当事者の年代〕



〔契約当事者の職業〕



(3) 主な商品・役務別の相談受付状況

(単位：件)

	商品・役務名	平成 29 年度 4－6 月	平成 28 年度 4－6 月	増 減
1	運輸・通信サービス	599	647	▲48 (▲ 7.4%)
2	金融・保険サービス	218	247	▲29 (▲11.7%)
3	商品一般	201	104	97 (93.3%)
4	食料品	140	120	20 (16.7%)
5	保健・福祉サービス	111	127	▲16 (▲12.6%)
	その他	855	931	▲76 (▲ 8.2%)
	計	2,124	2,176	▲52 (▲ 2.4%)

1 「運輸・通信サービス」

平成 29 年 4－6 月の相談件数は 599 件で、前年同期より 48 件減少しています。相談別にみると、アダルト情報サイト、出会い系サイトなどの放送・コンテンツに関連する相談の 383 件（全相談件数の 18.0%）が最も多く、次いで光ファイバー、インターネット接続回線などのインターネット通信サービスに関連する相談 131 件（同 6.2%）となっています。

2 「金融・保険サービス」

平成 29 年 4－6 月の相談件数は 218 件で、前年同期より 29 件減少しています。相談別にみると、融資サービスに関連する相談の 147 件（全相談件数の 6.9%）が最も多く、次いで預貯金・証券等に関連する相談、他の金融関連サービスがそれぞれ 18 件（同 0.8%）となっています。

3 「商品一般」

平成 29 年 4－6 月の相談件数は 201 件（全相談件数の 9.5%）で、前年同期より 97 件増加しています。商品一般には、商品を特定できない相談や商品が多岐にわたる相談が分類されます。

4 「食料品」

平成 29 年 4－6 月の相談件数は 140 件で、前年同期より 20 件増加しています。相談別にみると、健康食品に関連する相談の 59 件（全相談件数の 2.8%）が最も多く、次いで飲料に関連する相談の 40 件（同 1.9%）となっています。

5 「保健・福祉サービス」

平成 29 年 4－6 月の相談件数は 111 件で、前年同期より 16 件減少しています。相談別にみると、健康保険料の還付があるという名目の還付金詐欺を含む他の保健・福祉に関連する相談の 73 件（全相談件数の 3.4%）が最も多く、次いで医師が行う医療に関連する相談が 24 件（同 1.1%）となっています。



青森県消費生活センター
マスコットキャラクター
テルミちゃん
☎(Tel. Me)

2 特殊詐欺の状況

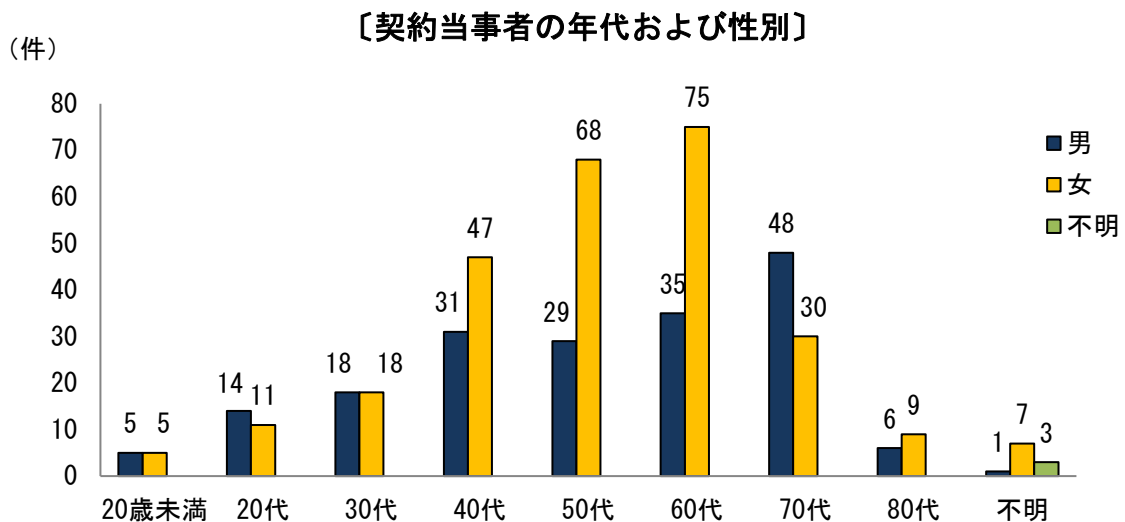
(1) 概況

平成29年4～6月の相談件数は460件で、前年同期と比べると1件(0.2%)増加しました。類型別にみると、振り込み詐欺の356件(相談件数の77.4%)が最も多く、次いでワンクリック詐欺の74件(同16.1%)となっています。(単位:件)

類 型	年 度	平成29年度 4～6月	平成28年度 4～6月	増 減
振り込み詐欺		356	277	79 (28.5%)
架空請求詐欺		293	177	116 (65.5%)
還付金詐欺		54	96	▲42 (▲43.8%)
融資保証金詐欺		6	4	2 (50.0%)
オレオレ詐欺		3	0	3 (皆 増)
ワンクリック詐欺		74	135	▲61 (▲45.2%)
金融商品取引名目詐欺		15	22	▲7 (▲31.8%)
異性との交際あっせん名目詐欺		9	23	▲14 (▲60.9%)
その他の名目詐欺(宝くじ)		4	0	4 (皆 増)
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺		2	2	-
計		460	459	1 (0.2%)

(2) 特殊詐欺に係る当事者の状況

契約当事者を年代・性別でみると、60代女性の75件が最も多く、次いで50代女性が68件となっています。性別のみでみると、男性が187件(相談件数の40.7%)、女性が270件(同58.7%)と女性の割合が高くなっています。



(3) 特殊詐欺に係る既払金額

平成29年4-6月における特殊詐欺の既払額等の状況をみると、お金を支払った人の数は減少していますが、既払金の合計額及び一人当たりの平均既払額、最大既払金額は前年同期より増加しています。

(単位：千円)

	平成29年度 4-6月	平成28年度 4-6月	増減
お金を支払った人の数	32人	34人	▲2 (▲5.9%)
既払金額合計	37,621	25,660	11,961 (46.6%)
平均既払金額 (一人当たり)	1,176	755	421 (55.8%)
最大既払額	20,000	7,000	13,000 (185.7%)

3 相談における特徴

○ 食料品に関する相談が増加

平成29年4-6月における食料品の相談は140件で、前年同期より20件(16.7%)増加しました。増加傾向にあった健康食品の相談が減少しましたが、頼んでもいないミネラルウォーターが送られてきたという相談などを含む飲料に関する相談が増加しました。

また、食品を摂取したことによる身体への危害や異物混入などの危険に関する相談が10件寄せられました。

〔食料品に関する相談受付状況〕

(単位：件)

	商 品 名	平成29年度 4-6月	平成28年度 4-6月	増減
1	健康食品	59	72	▲13 (▲18.1%)
2	飲料	40	14	26 (185.7%)
3	魚介類	11	9	2 (22.2%)
4	菓子類	5	4	1 (25.0%)
	酒類	5	3	2 (66.7%)
	その他	20	18	2 (11.1%)
	計	140	120	20 (16.7%)

○ 教養娯楽品のうち、書籍・印刷物に関する相談が増加

〔教養娯楽品に関する相談受付状況〕

(単位：件)

	商 品 名	平成29年度 4-6月	平成28年度 4-6月	増減
1	書籍・印刷物	46	21	25 (119.0%)
2	他の教養娯楽品	15	19	▲4 (▲21.1%)
3	電話機・電話機用品	12	17	▲5 (▲29.4%)
4	音響・映像製品	9	13	▲4 (▲30.8%)
5	時 計	7	3	4 (133.3%)
	その他	17	24	▲7 (▲29.2%)
	計	106	97	9 (9.3%)

教養娯楽品のうち、書籍・印刷物に関する相談が増加しました。最も多いのは新聞に関する相談が24件（相談件数の52.2%）、次いで雑誌の15件（同32.6%）となっています。

新聞の相談では、過剰な景品を付けたり、断っても執拗に勧誘行為を続けるなど悪質な手口が見受けられました。また、雑誌の相談では、頼んでもいない雑誌が継続的に送付された後で購読料金を請求されたという事業者からの相談が寄せられました。

〔書籍・印刷物の相談の内訳〕

（単位：件）

	商 品 名	平成 29 年度 4－6 月	平成 28 年度 4－6 月	増 減
1	新 聞	24	12	12 (100.0%)
2	雑 誌	15	1	14 (1400.0%)
3	書 籍	4	6	▲2 (▲33.3%)
4	他 の 印 刷 物	3	0	3 (皆 増)
	そ の 他	0	2	▲2 (皆 減)
	計	46	21	25 (119.0%)

4 65歳以上の高齢者の状況

(1) 全般

ア 概況

高齢者の相談は650件で、前年同期と比較して29件（▲4.3%）減少していますが、全相談件数に占める割合は30.6%と3割を超えています。

（単位：件）

項目	年度	平成 29 年度 4－6 月	平成 28 年度 4－6 月	増 減
苦 情		504	520	▲ 16 (▲ 3.1%)
問 合 せ		146	159	▲ 13 (▲ 8.2%)
計		650	679	▲ 29 (▲ 4.3%)

イ 高齢者の主な商品・役務別の相談受付状況

高齢者の相談では、運輸・通信サービスに関する相談が123件と（相談件数の18.9%）と最も多く、前年同期より7件増加しています。運輸・通信サービスのうち、架空請求、ワンクリック詐欺を含むデジタルコンテンツの相談が60件（同48.8%）と最も多くなっています。

（単位：件）

	商品・役務名	平成 29 年度 4－6 月	平成 28 年度 4－6 月	増 減
1	運輸・通信サービス	123	116	7 (6.0%)
2	商 品 一 般	80	41	39 (95.1%)
3	保健・福祉サービス	76	84	▲ 8 (▲ 9.5%)
4	食 料 品	67	53	14 (26.4%)
5	金融・保険サービス	65	79	▲14 (▲17.7%)
	そ の 他	239	306	▲67 (▲21.9%)
	計	650	679	▲29 (▲ 4.3%)

ウ 高齢者からの相談に係る契約等の既払金額

高齢者の相談に係る既払金額等の状況を見ると、既払金額の合計が1億円を超え、前年同期より40,898千円（67.1%）の増加になりました。

（単位：千円）

	平成29年度 4－6月	平成28年度 4－6月	増減
お金を支払った人の数	86人	76人	10（13.2%）
既払金額合計	101,827	60,929	40,898（67.1%）
平均既払金額（一人当たり）	1,184	802	382（47.6%）
最大既払額	20,385	10,000	10,385（103.9%）

（2）高齢者の特殊詐欺の状況

ア 概況

高齢者の特殊詐欺に関する相談件数は144件で、前年同期と同数でした。類型別にみると、振り込み詐欺が120件（相談件数の83.3%）と最も多く、次いでワンクリック詐欺と金融商品取引名目詐欺がそれぞれ11件（同7.6%）となっています。

（単位：件）

類 型	年 度	平成29年度 4－6月	平成28年度 4－6月	増減
振り込み詐欺		120	119	1（0.8%）
架空請求詐欺		67	40	27（67.5%）
還付金詐欺		50	78	▲28（▲35.9%）
融資保証金詐欺		0	1	▲1（皆減）
オレオレ詐欺		3	0	3（皆増）
ワンクリック詐欺		11	14	▲3（▲21.4%）
金融商品取引名目詐欺		11	10	1（10.0%）
異性との交際あっせん名目詐欺		0	0	-（-）
その他の名目詐欺（宝くじ）		2	0	2（皆増）
ギャンブル必勝法情報提供名目詐欺		0	1	▲1（皆減）
計		144	144	-（-）

イ 高齢者の特殊詐欺に係る既払金額

高齢者の特殊詐欺に係る既払金額等の状況をみると、お金を支払った人の数は減少していますが、既払金額の合計、一人当たりの平均既払額、最大既払額のすべてが増加し、深刻な被害が発生していることがわかります。

（単位：千円）

	平成29年度 4－6月	平成28年度 4－6月	増減
お金を支払った人の数	3人	7人	▲4（▲57.1%）
既払金額合計	32,495	7,658	24,837（324.3%）
平均既払金額（一人当たり）	10,832	1,094	9,738（890.1%）
最大既払額	20,000	4,553	15,447（339.3%）

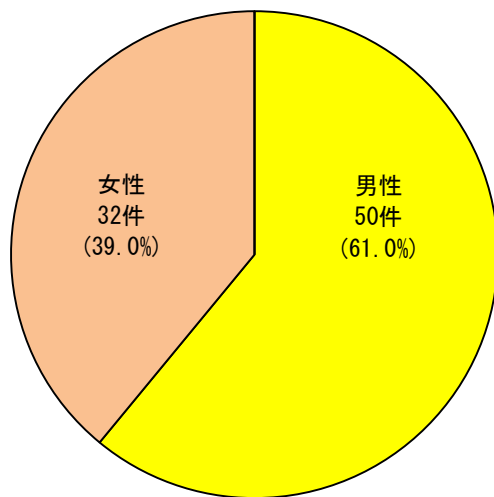
5 多重債務に関する相談の受付状況

平成29年4～6月における多重債務に関する相談件数は82件で、前年同期より7件(▲7.9%)減少しています。

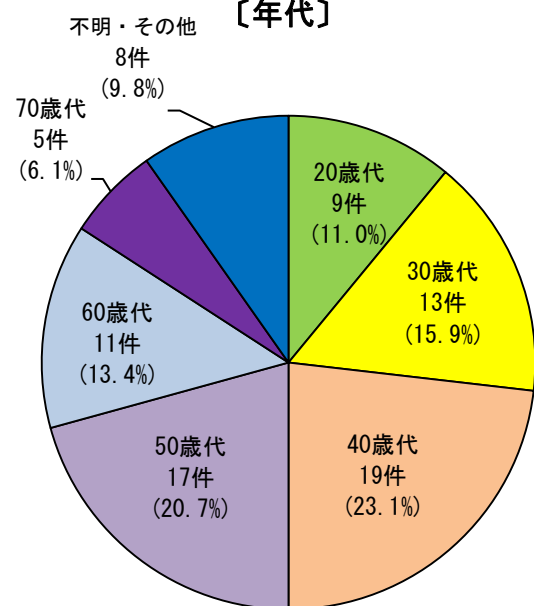
(単位: 件)

	平成29年 4～6月	平成28年 4～6月	増減
相談受付件数	82	89	▲7 (▲7.9%)

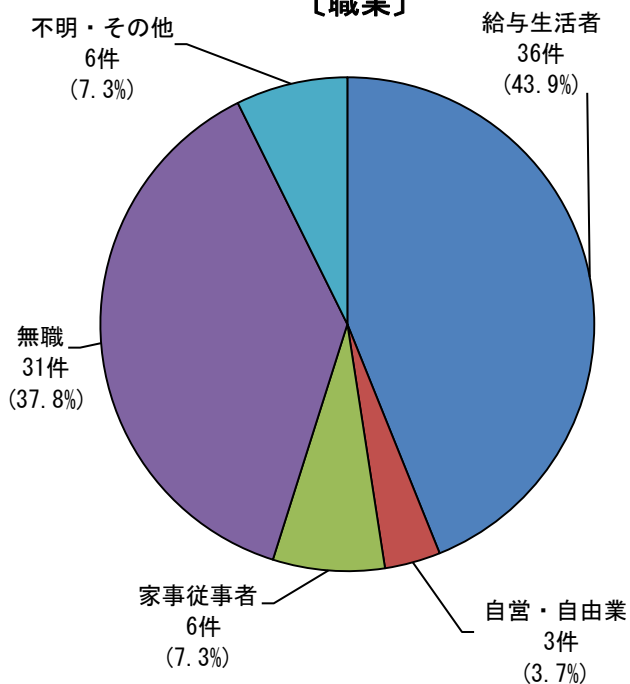
〔性別〕



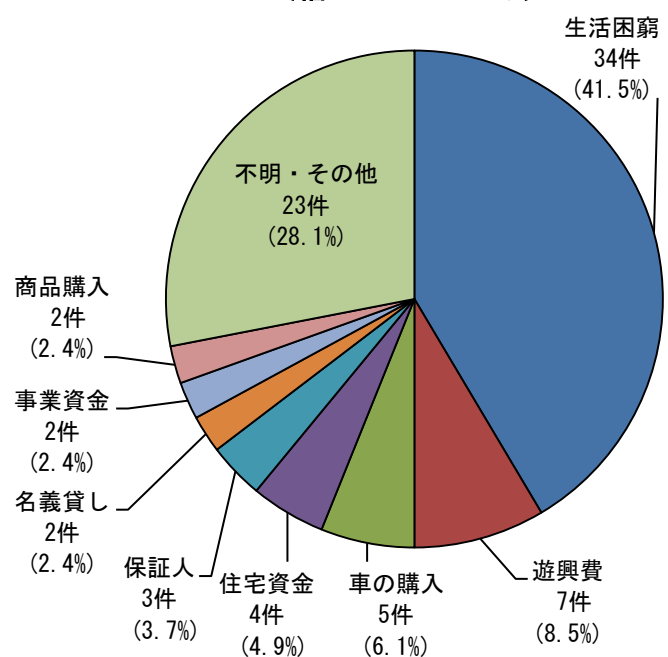
〔年代〕



〔職業〕



〔借金のきっかけ〕



6 ヤミ金などの相談状況

平成29年4-6月におけるヤミ金に関する相談件数は13件で、前年同期17件より4件(▲23.5%)減少しています。

(単位:件)

	平成29年 4-6月	平成28年 4-6月	増減
ヤミ金	13	17	▲4 (▲23.5%)
融資保証金詐欺	6	4	2 (50.0%)
借金整理屋	1	0	1 (皆増)
ショッピング枠現金化	0	0	0 (—)
計	20	21	▲1 (▲4.8%)